



報道機関各位

(感染症関係) 健康福祉部健康増進課 担当者 前川、野路、上藤 電話番号 0776-20-0351 県庁内線番号 2625、2626	(保育所関係) 健康福祉部子ども家庭課 担当者 伏木 0776-20-0340、0342 県庁内線番号 2550
--	--

腸管出血性大腸菌感染症の発生について（平成28年第10報の続報（その2））

1 概要

平成28年8月13日に発表した、二州健康福祉センター管内において発生した腸管出血性大腸菌感染症（平成28年第10報の続報）に関して、調査結果が出ましたのでお知らせします。

保育所では、園児37名のうち、新たに男児2名（いずれも無症状）が陽性と判明しましたが、保育所内での感染の広がりには限定的でした。

また、保育所以外の接触者の調査では、新たに1名（30代男性、無症状）が陽性と判明しました。このため、二州健康福祉センターは、新たに感染が確認された患者等に対して、健康状態、行動調査および二次感染防止の指導等を実施するとともに、引き続き接触者の検査を進めています。

前回まで（第10報の続報）の概要

患者	二州健康福祉センター管内在住の男児 2名
	患者の主な症状：腹痛、水様性下痢
	現在の状態：症状は回復してきている。

2 検便の対象者（8月17日現在）

(1) 保育所 (人)

	対象者数	検査結果		検査中
		陽性者数	陰性者数	
園児	37	4	33	0
職員	9	0	9	0
計	46	4*	42	0

※新規患者2名（8/10, 13発表済2名を含む）

(2) 保育所以外での接触者 (人)

	対象者数	検査結果		検査中
		陽性者数	陰性者数	
接触者	24*	1	15	8

※新規患者2名の接触者を追加

3 腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

		平成26年	平成27年 (全国は暫定数)	平成28年 (全国は8月7日現在)	備考
全国	届出数 (人)	4, 151	3, 567	1, 467	去年同期：1, 720人
福井県	発生件数 (件)	22	17	12	去年同期：10件
	届出数 (人)	38	25	18	去年同期：16人
	有症者 (人)	26	16	12	去年同期：9人
	無症者 (人)	12	9	6	去年同期：7人
	初発 (月日)	3/18	3/19	3/25	
最終 (月日)	11/7	11/10			

※ 腸管出血性大腸菌感染症の発生がありましたので、以下のことを徹底してください。

感染を予防するには、各家庭において次の事項に留意することが大切です。また、腹痛や下痢、血便等の症状がある場合には調理等を行うことを控え、早めに医療機関を受診しましょう。

- ① 少量の菌で感染が成立することから、手洗いが最も重要です。特に調理や食事の前、用便後や便の始末をした際には十分に手を洗いましょう。
- ② 調理器具は食品ごとにこまめに流水で洗い、熱湯をかけておきましょう。
- ③ 生野菜は流水でよく洗い、肉類や加熱する食品は十分に加熱（中心部を75℃で1分間以上）しましょう。
→生食用の牛レバーおよび豚肉（内臓を含む。）は提供・販売されていません。
- ④ 焼肉をする場合は、生肉専用の箸を用いるなど、箸の使い分けをしましょう。